

関係者 各位

2011年1月4日（火）

株式会社キャリアデザインセンター

景気回復局面における人事担当者の意識調査
2011年は中途採用が再び活発化
【人事調査レポート2010 -人事担当者の意識調査】

株式会社キャリアデザインセンター(以下CDC、本社:東京都港区、代表取締役社長兼会長:多田弘實)は、国内民間企業の人事部門を対象として人事(採用・研修など)に関する調査を実施いたしましたので、お知らせいたします。



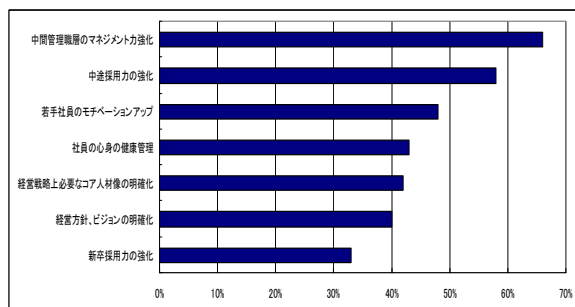
1. 今回の調査における社会的背景

近年の世界的な景況感悪化により、前回調査を行った2008年以降、日本経済は大幅に落ち込んだ。依然として先行き不透明な状況が続いていたことから、景況感の二番底懸念をされた2010年であったが、4月から新年度を迎えた多くの企業において、輸出の好調と経済対策による消費の増加により、業績は改善する傾向が見られた。

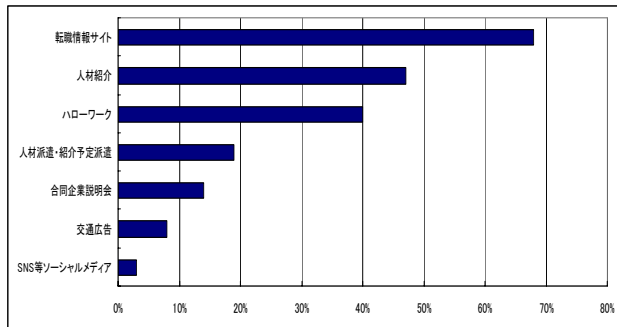
このような状況の中、今回の調査を実施した2010年10月では、大規模な構造改革、リストラクションが進み、多くの企業でコスト削減を求められる中、採用活動の抑制、教育・研修の凍結など、人事部門として苦しい状況を強いられながらも切り抜けた後の、明るい傾向が見られることとなった。

2. 2010年度の全体傾向 ～2011年は、中途採用の強化が重要課題となる見通し～

今回の調査では、今後の人事部門として、「中間管理職層のマネジメント力強化」・「中途採用力の強化」・「若手社員のモチベーションアップ」の3つの項目が、重要度の高い課題として挙げられた。2011年以降における企業業績の改善、あるいは中長期的な将来計画の実現に向け、新たな成長戦略を描く企業にとって将来を担う優秀な人材の育成が求められている結果と言える。



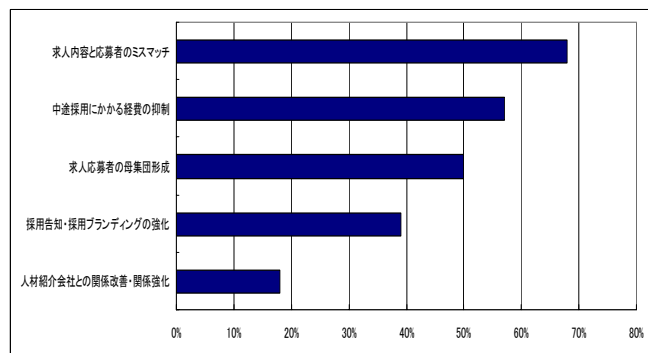
特に中途採用については、前回調査を行った2008年と比べて、「中途を中心に採用する」と明確に回答する企業が飛躍的に増加しており、中途採用を行う理由は「事業拡



大のため」が最も多く、前回調査から 10 ポイント以上増加している。また、企業が今後新たに採用活動を行う際は、公募媒体（転職サイト等）の利用を中心に実施するとの回答が多く、費用対効果が見えにくいとされる交通広告やソーシャルメディアの活動などは低い水準となった。

人材紹介については、製造業や情報通信業を中心にコア人材を求める業種において利用意向が依然高く推移しているようだ。

一方、中途採用における主な問題・課題としては、「求人内容と応募者のミスマッチ」・「中途採用にかかる経費の抑制」・「求人応募者の母集団形成」が上位に挙げられた。サブプライムローン問題やリーマン・ショックを背景とした景況感の悪化により、企業・求職者双方の需給バランスが崩れたことが如実に表れた結果とみられ、特に近年は優秀な人材のみを採用したいという企業側の傾向から、人事部門が中途採用を実施する際に期待する応募人数や面接人数の水準が増加傾向となっている。中途採用予算は一時的に縮小したことから、今後も急速に拡大することは見通しにくい状況と言える。そのため、今後は転職サイト等の公募媒体に一層の媒体力が求められることとなるであろう。



「中間管理職層のマネジメント力強化」・「若手社員のモチベーションアップ」などの項目については、マネジメント層に対しては「最近1年以内に1回以上実施」した企業が約4割、同2年以内に実施した企業では約半数を占めた。また、昨年度と比較して教育研修予算が増加している企業が、減少している企業を上回っている結果となった。若手社員向けには、「OJT による能力開発」だけでなく、「直属上長との定期的な面談」や「Off-JT による能力開発」、「人事部門が主催する若年層向け研修」などを実施し、育成を図る動きが見られた。人事部門としてこれらの取り組みを実施することは、今後のさらなる組織強化に向けた動きが期待できるであろう。

3. 2011 年度の見通し ～守りの施策から攻めの施策への変化～

企業業績が回復すると、雇用を始めとした様々な部門で企業が活発化する。その中で、苦しい状況を耐えてきた人事部門からすると、今後の成長戦略を担う上で、非常に重要なポジションに置かれていくであろう。そのような中、今回の調査で人事部門としてコスト削減の中強いられた守りの施策から、採用・教育、研修などにおいて攻めの施策へと転じられる局面を迎え、今後人事部門に期待される役割が非常に高くなっていくことが予想される。また、今後の成長戦略を描く上で、優秀な人材を採用するのみならず、自社で採用した後にはいかに育成するかが再び求められることとなっていることが、今回の調査で見取ることができた。2011 年は、企業にとっても業績が上向きな状況でスタートをする年になるため、非常に重要な1年となるであろう。

■ 人事調査レポート 概要 =====

【人事調査レポート】は、キャリア転職サイト『@type』の運営をするCDCが、国内民間企業の人事部門に対し、「自社の採用・教育・研修・労務の考え方」を経年的に把握する目的で調査を実施しているものであります。

【2010 調査概要】

調査目的 自社の採用・教育・研修・労務について、人事部門の意識を探る
調査対象 国内民間企業の人事部門
調査方法 インターネットリサーチ
調査時期 2010年10月20日(水)～2010年11月18日(木)
調査回答数 226社

■ 株式会社キャリアデザインセンター 会社概要 =====

本社所在地 ■〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-20 赤坂ロングビーチビル

資本金 ■5億5866万円

設立 ■1993年7月8日

従業員数 ■225名(2010年9月30日現在)

代表者 ■代表取締役社長兼会長 多田 弘實

事業内容 ■①キャリア転職サイト『@type』、『女の転職@type』等の企画・運営

②キャリア転職情報誌『type』、就職情報誌『就活 type』の編集・発行

③人材紹介事業(厚生労働大臣許可 13-ユ-040429)

④適職フェアの開催

⑤一般労働者派遣事業(厚生労働大臣許可 般 13-304673)

など、企業の採用活動をサポートする総合的なソリューションサービスを提供しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社キャリアデザインセンター CDC 総合研究室:西山 裕

E-mail:pr@type.jp Tel:03-3560-1601 Fax:03-3560-1605